

Title	さぬきうどん
Sub Title	
Author	金子, 晋丈(Kaneko, Kunitake)
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	2017
Jtitle	新版 窮理図解 No.25 (2017. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000025-0008">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000025-0008</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## さぬきうどん

金子 晋丈

私の出身地である香川を訪問する人に聞かれる質問で一番多いのが「どのうどん屋に行けばいいですか？」である。あいにく、香川に「ザ・さぬきうどん」や「本家さぬきうどん」なる店は存在しない。何代も続く老舗がさぬきうどんを牽引してきたわけではないのだ。およそ集落ごとに存在するうどん屋に加え、うどん好きが店をオープンし、店主がリタイアしたらつぶれる。個々の店は新陳代謝を繰り返しながら、讃岐全体でさぬきうどんの継続性は保たれてきた。

うどん屋は店ごとにすべて違う。うどんだけを取っても、うどんの太さ・長さ、こし（表面の柔らかさ、もちもち感、か

み切る力、箸で持ち上げたときのうどんの動き、等）、だし（いりこ・かつお、甘め・しょっぱめ、醤油、等）、食べ方（冷・温、ゆで・釜揚げ、かけ・つけ・煮込み、等）、トッピング（ネギ、生姜・唐辛子、天かす、わかめ、卵、肉、カレー、酢・スダチ・レモン、等）、サイド（天ぷら、おでん、コロッケ、お稲荷さん、ちらし寿司、お握り、等）にそれぞれ違いがあり、組み合わせによって種類と味は無限に広がる。そこに、店の雰囲気、周辺環境、値段、同伴者などが加わってくる。

讃岐人は、これらの違いを経験的に理解し、その日の気分や天気、場所、時間帯にあわせて、うどん屋を選択しているのである。だからこそ、毎日うどんを食べることができるのだ。うどん屋の多様性がうどんの多様性を理解する讃岐人を育て、うどんの多様性を理解する讃岐人がうどん屋の多様性と店数を維持してき

たとも言える。そして、この多様性こそが、讃岐におけるうどん文化の神髄に違いない。

今、さぬきうどんは文化としての一つの危機を迎えている。店主の高齢化にともない廃業が相次いでいる。後継者も少ない。それに加えて、チェーン化したうどん屋が生まれてきた。さぬきうどんの未来が危うい。

デジタルアーカイブ・ミュージアムについて研究をしていると、必然的に文化という言葉と向き合わなくてはならない。文化は、人間生活のさまざまな習慣やしがらみに他からの影響が複雑に絡み合っ構成されており、一通りに解釈できるものではなく、一通りに解釈されるものでもない。多様な解釈や価値観の共存を許容し、文化の創発を促すデジタル技術を創りたい。さぬきうどんから得られる示唆は意外に多い。

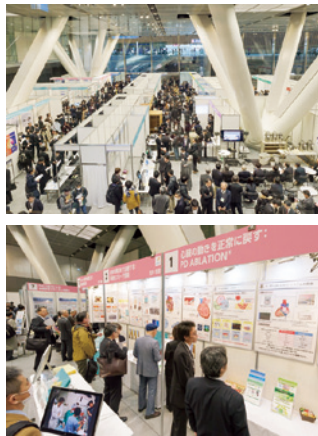
## 理工学 Information

### KEIO TECHNO-MALL 2017

#### 第18回 慶應科学技術展「育てる産学、育つ夢」

KEIO TECHNO-MALL（慶應科学技術展）は、慶應義塾大学理工学部・理工学研究科の研究成果を広く発信し、共同研究や技術移転など、産官学連携のきっかけとなる出会いの場を提供するイベントです。大学最大規模の100件を超える実演中心の展示と、研究者による技術セミナー・ラウンドテーブルなどを実施し、毎年、企業や官公庁、他大学などから、多数で来場いただいています。

日時：2017年12月15日（金）10:00～18:00  
 場所：東京国際フォーラム地下2階（ホールE2）  
 内容：実物・実演重視の展示と魅力的な企画を予定  
 入場無料 ※すべてのイベントで事前登録不要です。  
 詳細：www.kll.keio.ac.jp/ktm/



〈基調講演、トークイベント〉 ※変更になる可能性がございます。

#### 1. 「宇宙から見た日本、宇宙から見た世界」

ゲスト：山崎 直子氏（宇宙飛行士・宇宙政策委員会委員）

#### 2. 「経営者として理工学部に望むこと」

ゲスト：玉塚 元一氏（株式会社ハーツユナイテッドグループ 代表取締役社長 CEO）

小林 一俊氏（株式会社コーサー 代表取締役社長）

生田 久貴氏（株式会社ミクニ 代表取締役社長）

#### 編集後記

情報工学科の若手ホープとして活躍される金子先生ですが、複数の草鞋を履いておられ、デジタルコンテンツの世界では知る人ぞ知る活躍をされていることを初めて知りました。そういうご活躍やご本人の万能さについてこれ見よがしにアピールしない自然体が金子先生のいいところ。生い立ちを伺う上でも、幾つもの味わい深いエピソードから先生の奥深さに触れました。本誌からその溢れる魅力が読者の皆様へ伝わることを願っています。

（樋口亜由美）

## 新版 窮理図解

No.25 2017 August

編集 新版窮理図解編集委員会  
 写真 邑口京一郎  
 デザイン 八十島博明、石川幸彦（GRID）  
 編集協力 サイトック・コミュニケーションズ  
 発行者 伊藤公平  
 発行 慶應義塾大学理工学部  
 〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1  
 問い合わせ先（新版窮理図解全般）  
 kyurizukai@info.keio.ac.jp  
 問い合わせ先（産学連携）  
 kll-liaison@adst.keio.ac.jp  
 web版 http://www.st.keio.ac.jp/kyurizukai  
 facebook http://www.facebook.com/keiokyuri